

# 日本の患者実態調査結果

－ 患者の意識と政策課題 －

2007年4月22日

近藤正晃ジェームス  
日本医療政策機構副代表理事

# 目次

I. 背景

II. 今回調査について

III. 心疾患全体に対する患者満足度

IV. 心疾患医療の課題

V. 今後の取り組みについて

# 要 旨

## 【背景】

- 心疾患はがんに次ぐ**死因の第2位**であり、医療費に占める割合も**第1位**と重要。
- 世界的にも、アメリカで死因の第1位であり、国際的連携を求める声が挙がりつつある。

## 【今回調査について】

- 日本で初めての心疾患医療政策についての患者意識調査を行い、**1,062名**からの回答を得た。
  - 調査時期:2006年12月～2007年4月
  - 調査経路:患者会経由の郵送調査
  - 調査対象:3,800人(心疾患一般・ペースメーカー・先天性心疾患の患者会に属する患者、家族)
  - 回答者数:1,062人(心疾患一般:804人、ペースメーカー:141人、先天性心疾患:117人)

## 【調査結果】

1. 心疾患全体に対する患者満足度
  - 心疾患患者は、**75%が満足**と、全体的に満足度が高い
  - ただし、先天性心疾患患者では**50%が不満**とバラツキが認められる
2. 心疾患医療の課題
  - 細項目で見ると**15項目10項目で不満**を抱いている

## 【今後の取り組みについて】

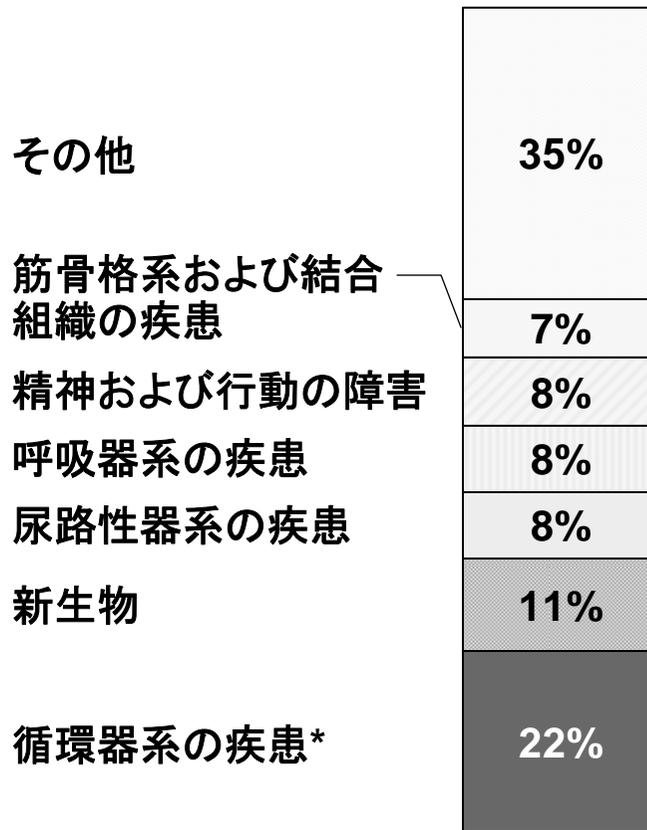
- 今回明らかになった課題項目は以下のように大きく3つに分かれる
  - ①予防
  - ②急性期治療・医療の質の向上
  - ③日常生活(慢性期管理・ノーマライゼーション)
- ①②に関しては、多くの対策が行われてきているが、「承認スピード」や「専門外医師の知識」の問題など、今回明らかとなった課題はまだ多くあり、今後とも取り組みが必要である
- ③への対策は、これまでほとんどなされておらず、今後は、上記取り組みに加えて「費用面でのサポート」、「社会的差別への保護」や、「障害の社会的認知」などの対策を行うことが重要である

# 心疾患は、日本の医療において最も重要な疾患の一つである (%)

## 医療費

(平成16年度)

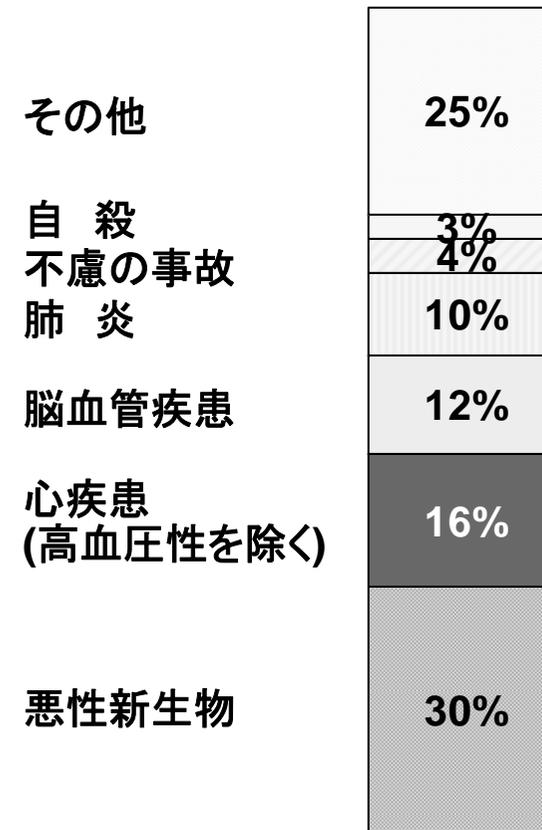
100% = 243,627 人



## 死 因

(平成17年度)

100% = 858.8 人

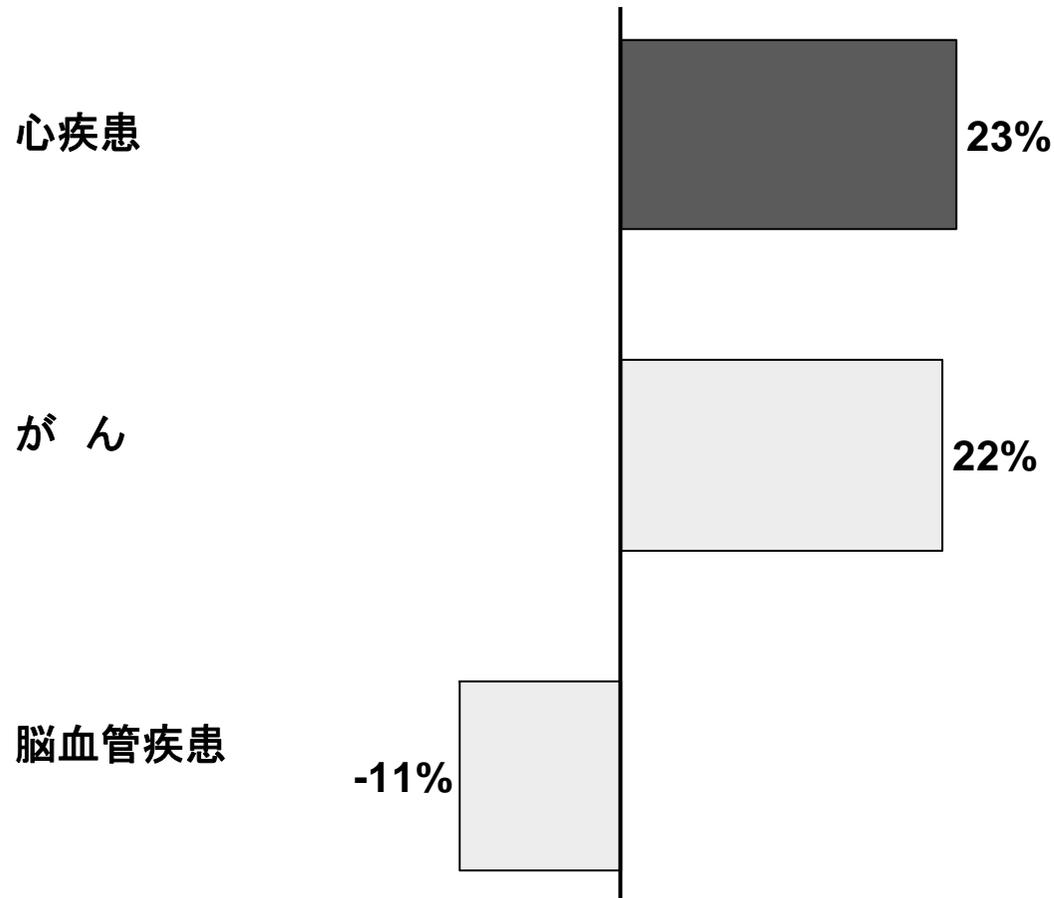


\* 含む高血圧・脳血管障害

資料:「国民医療費の概況」、「人口動態統計」(共に厚生労働省)

# 最近10年間でも高い伸び率である

(%; 平成7～17年の死亡人口の増加率)



## 諸外国においても心疾患は死因の上位

	日 本 (2006)	アメリカ (2000)	イギリス (2001)	ドイツ (1999)	フランス (1999)
1位	悪性新生物	心疾患	悪性新生物	心疾患	悪性新生物
2位	心疾患	悪性新生物	心疾患	悪性新生物	心疾患
3位	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患

全世界で、男性380万人、女性340万人が、毎年、虚血性心疾患で死亡

## 心疾患患者調査の概要

- 調査方法：患者会会員へのアンケート郵送
- 時 期： 2006年11月～2007年4月
- 協力患者会とサンプル数

	郵送数	全数 / 抽出	患者会の概要対象疾患群
財団法人 星陵心臓友の会	2,800	全 数	設立1971年、会員家族数2,000、 対象疾患：心臓病、宮城県仙台市
日本心臓ペース メーカー友の会	500	抽 出	設立1970年、会員数3,900名、 対象：心臓ペースメーカー、心臓病、 ICD(植え込み型除細動器)、東京都
全国心臓病の 子どもを守る会	500	抽 出	設立1963年、会員数6,000名、 対象疾患：心臓病、東京都
合 計	3,800		

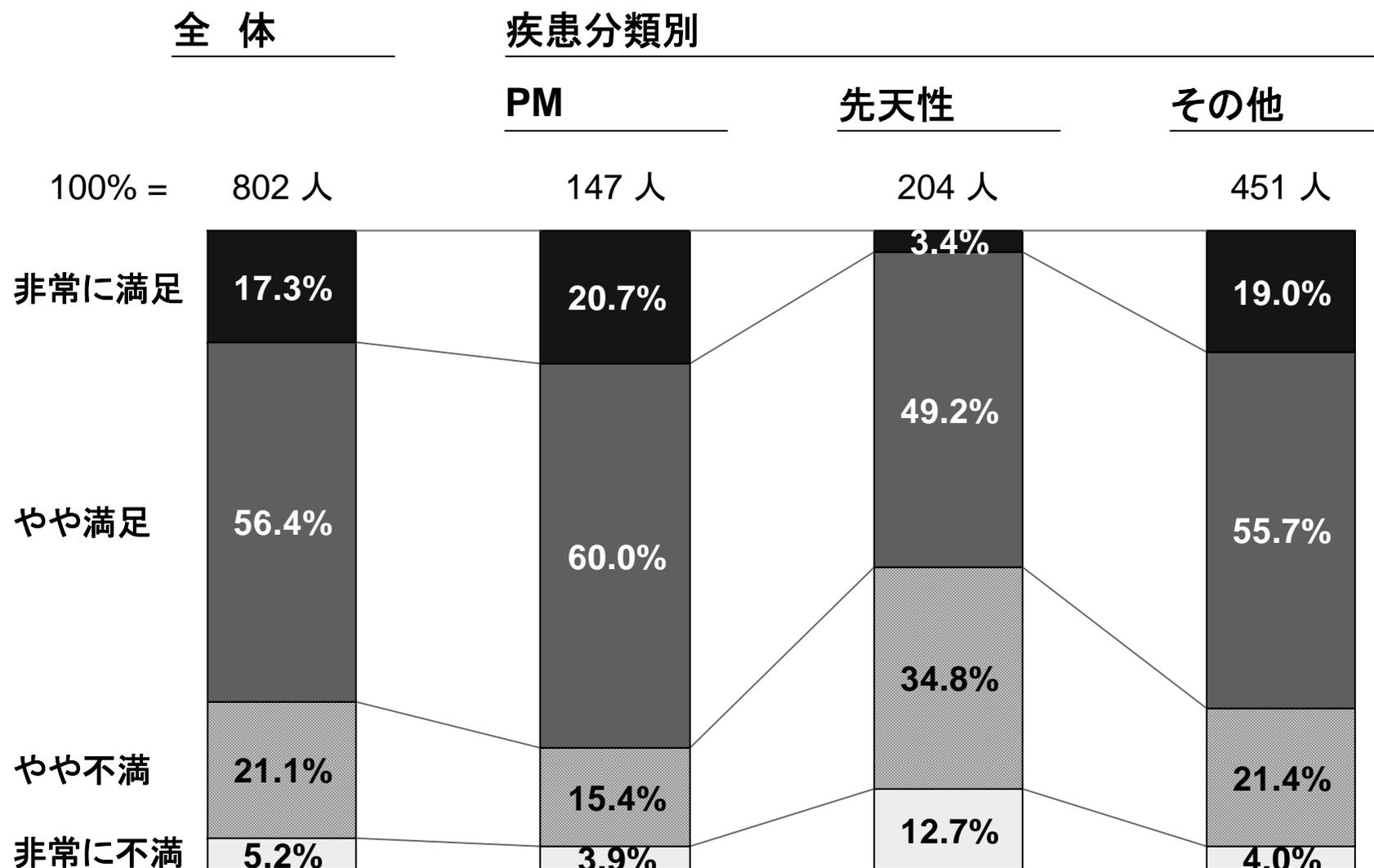
## 集計結果

サンプル数	1,062名	
性別	男性60%	女性40%
年齢	60歳未満	40%
	60歳代	22%
	70歳代	28%
	80歳以上	10%
地域	東京・大阪	4%
	その他	96%

## 疾患別に患者会のサンプルを3つの分類に区分

		協力患者会		
		財団法人 星陵心臓友の会	日本心臓ペース メーカー友の会	全国心臓病の 子どもを守る会
調査 における 疾患の 分類	ペースメーカー、ICD利用者 <b>190人</b>	✓	✓	
	先天性心疾患患者 <b>258人</b>	✓	✓	✓
	その他一般心疾患 <b>614人</b>	✓		

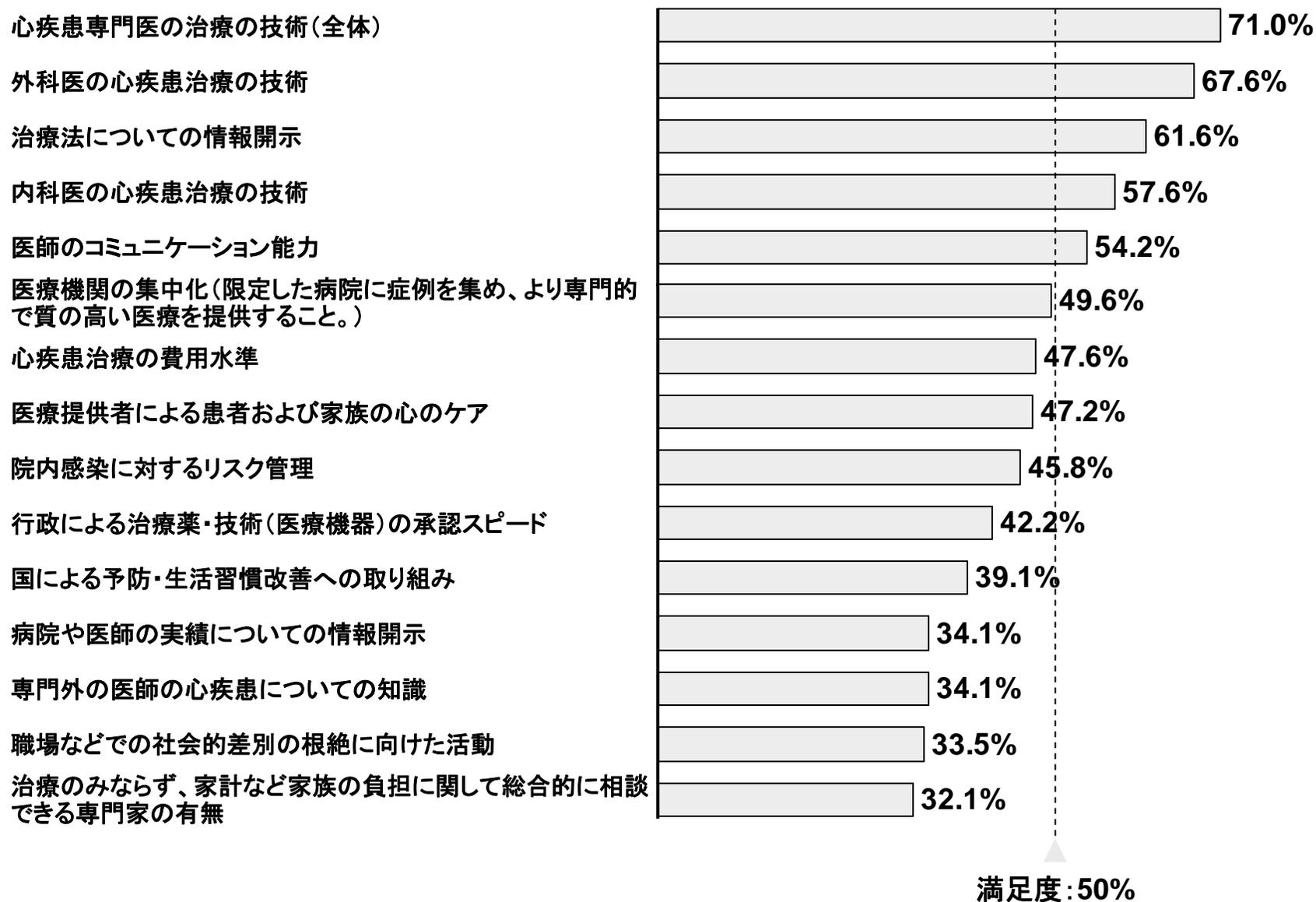
# 現在の日本の心疾患医療に対する満足度は高い (%)



資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

## 細分化すると、15項目中10項目で不満が過半数以上

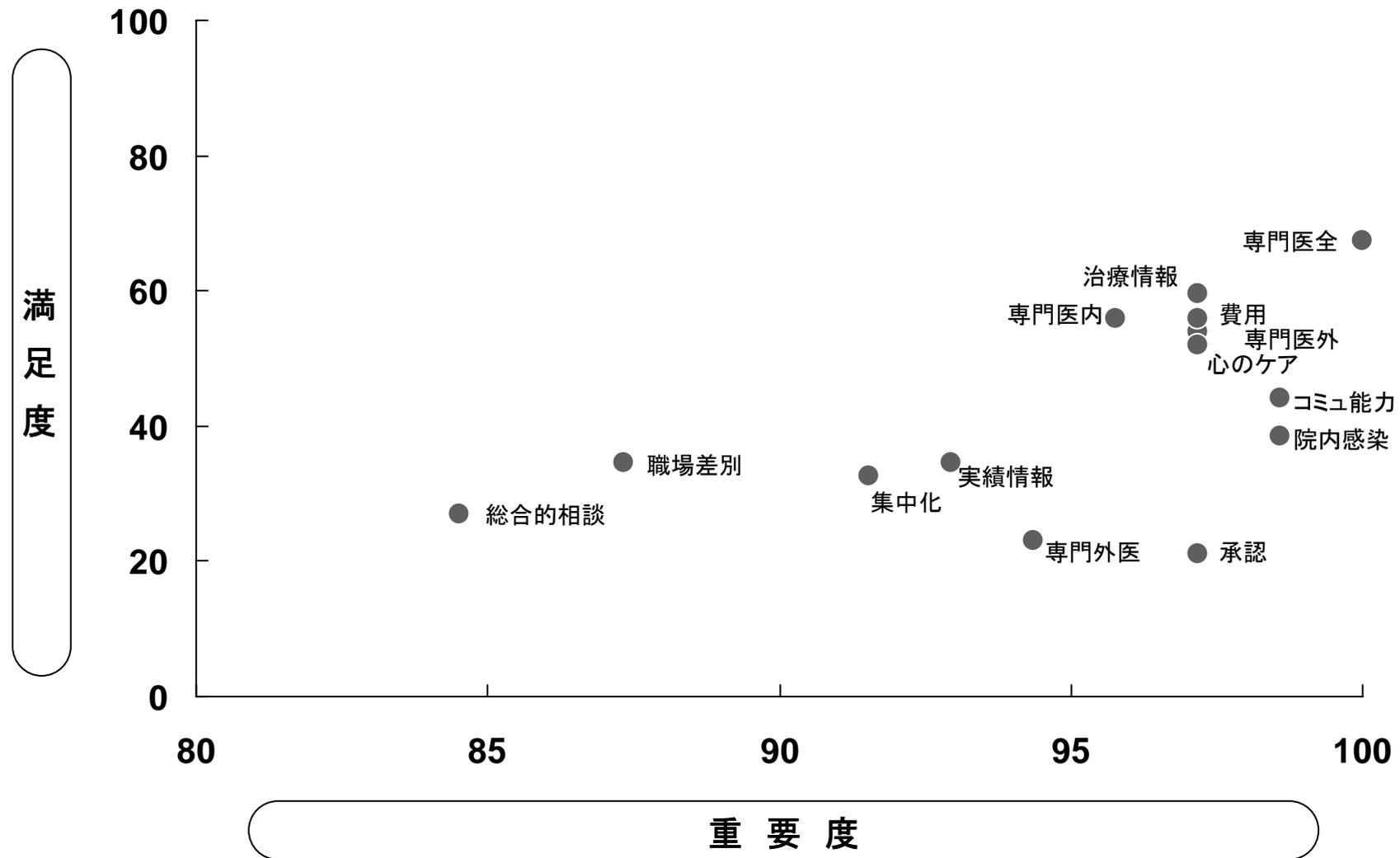
(%)



資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

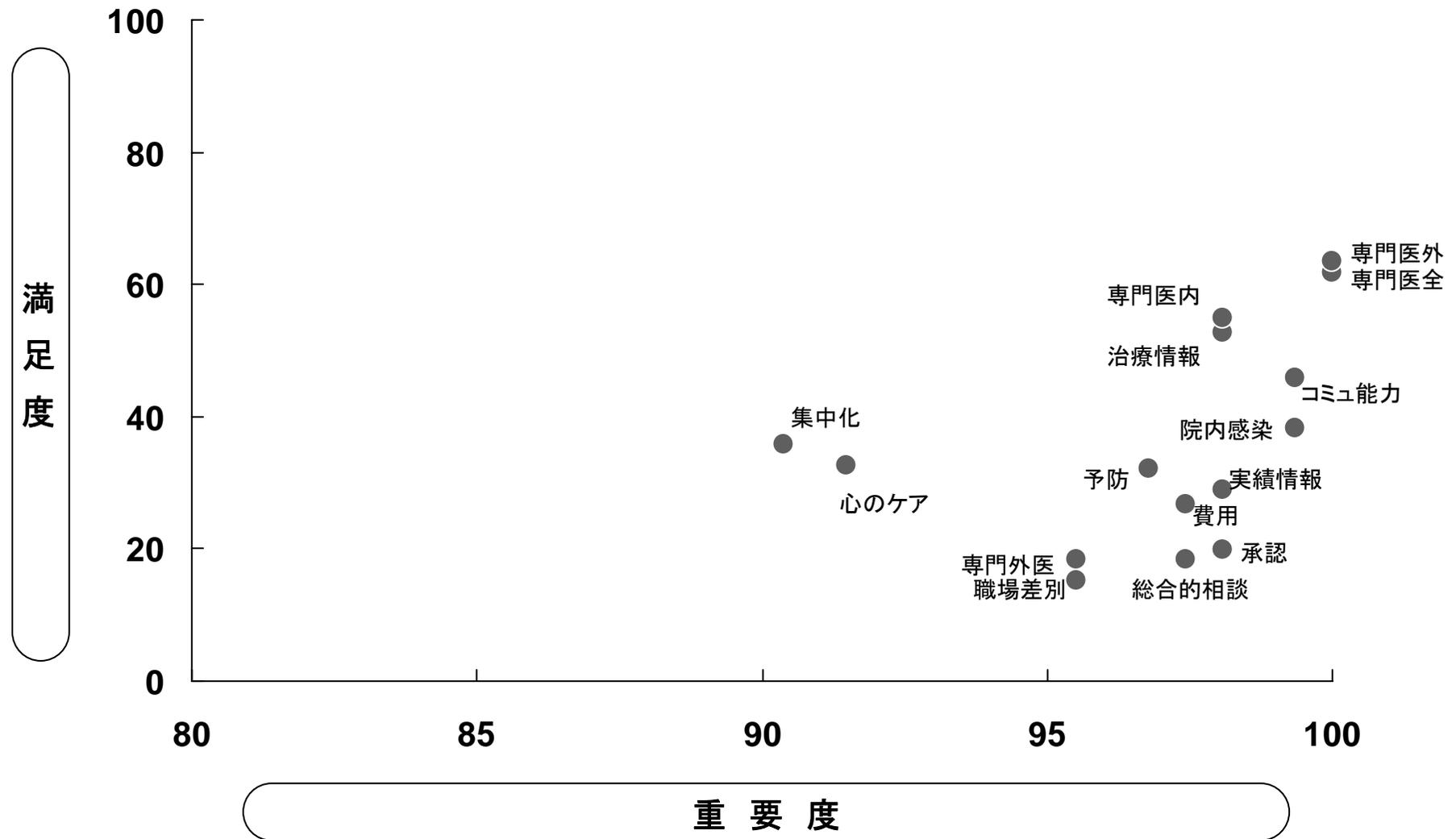
# 重要度・満足度の分布には、各疾患分類でバラツキがある (%)

## 疾病三分類: PM



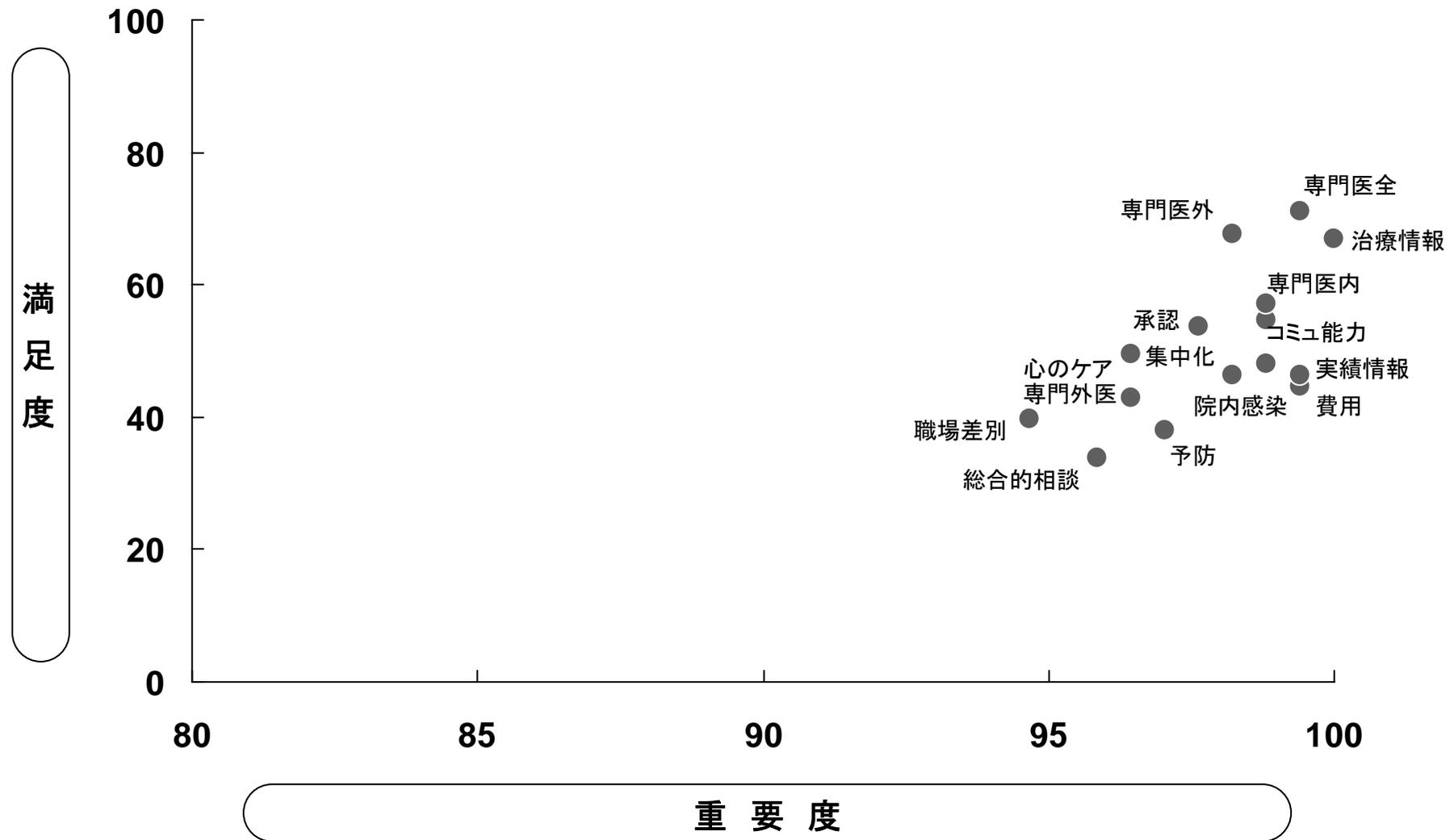
# 重要度・満足度の分布には、各疾患分類でバラツキがある (%)

## 疾病三分類：先天性



# 重要度・満足度の分布には、各疾患分類でバラツキがある (%)

## 疾病三分類：その他心疾患

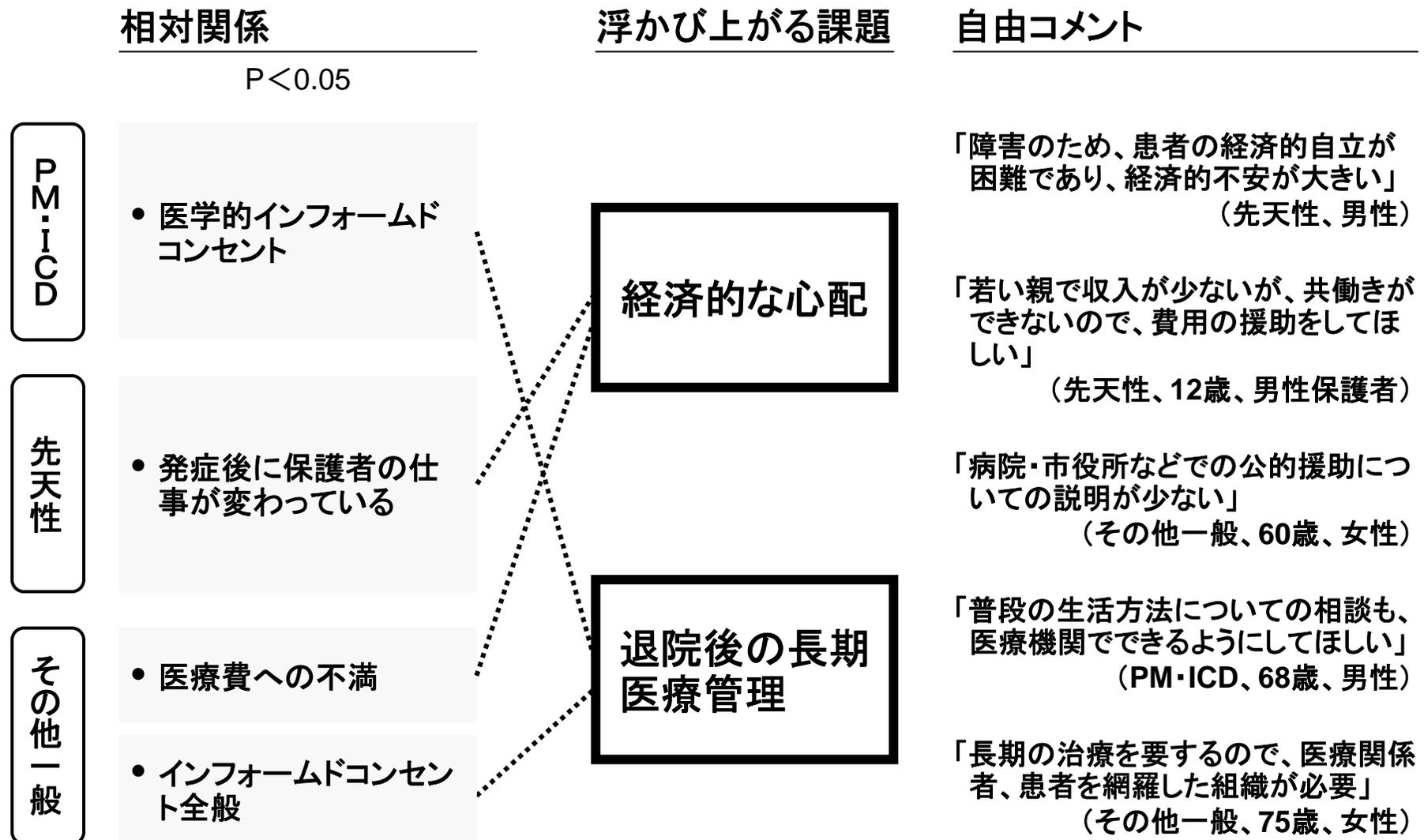


資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

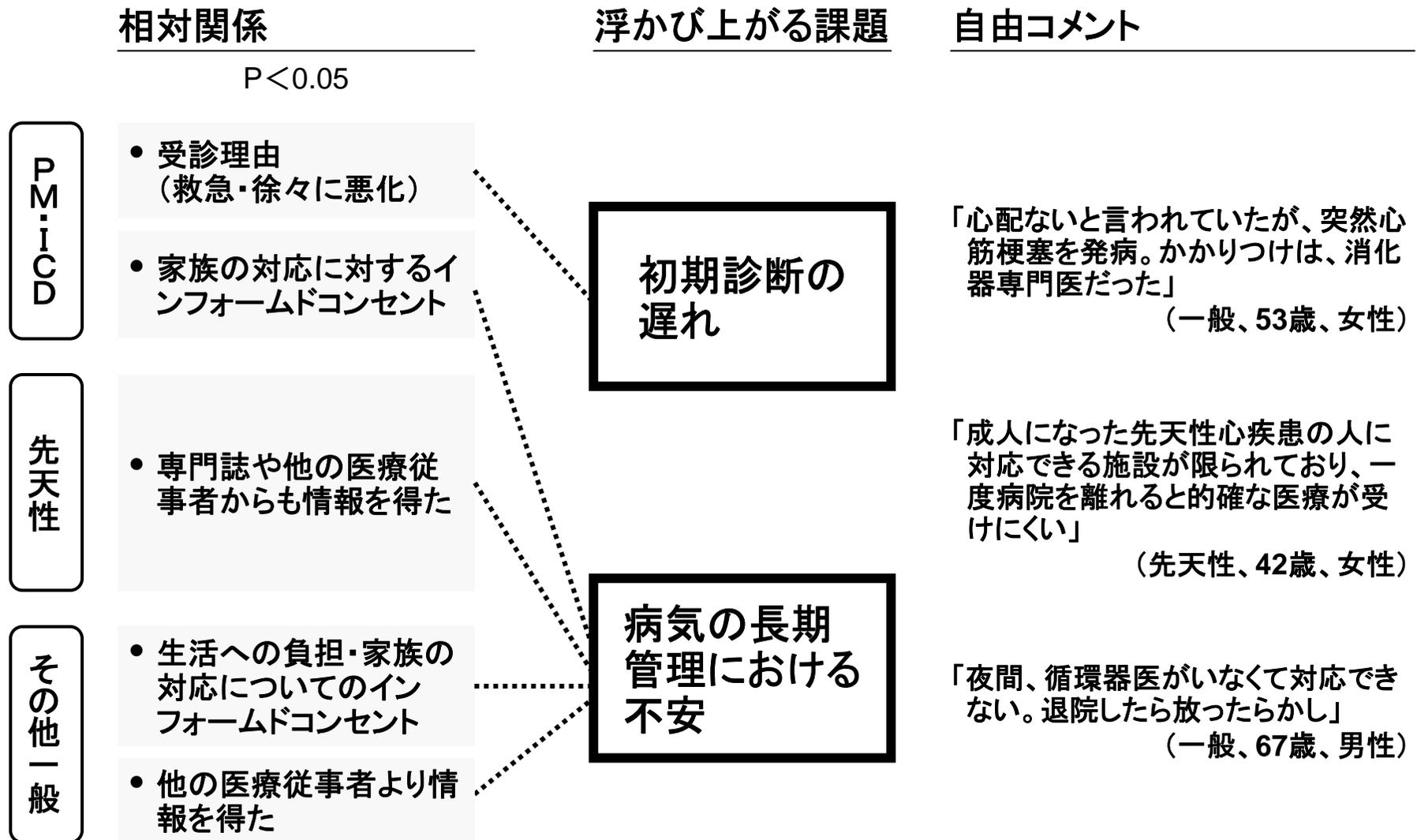
各分類ごとに重要かつ満足度の低いものを抽出すると、共通点が明らかになる

		各疾患グループ		
		メスマーカー、 ICD利用者	先天性心疾患患者	その他一般心疾患
不 満 重 要 度 の 順 位	1位	承認	職場差別	総合的相談
	2位	専門外	総合的相談	予 防
	3位	総合的相談	専門外	職場差別
	4位	集中化	承認	専門外
	5位	実績情報	心のケア	院内感染

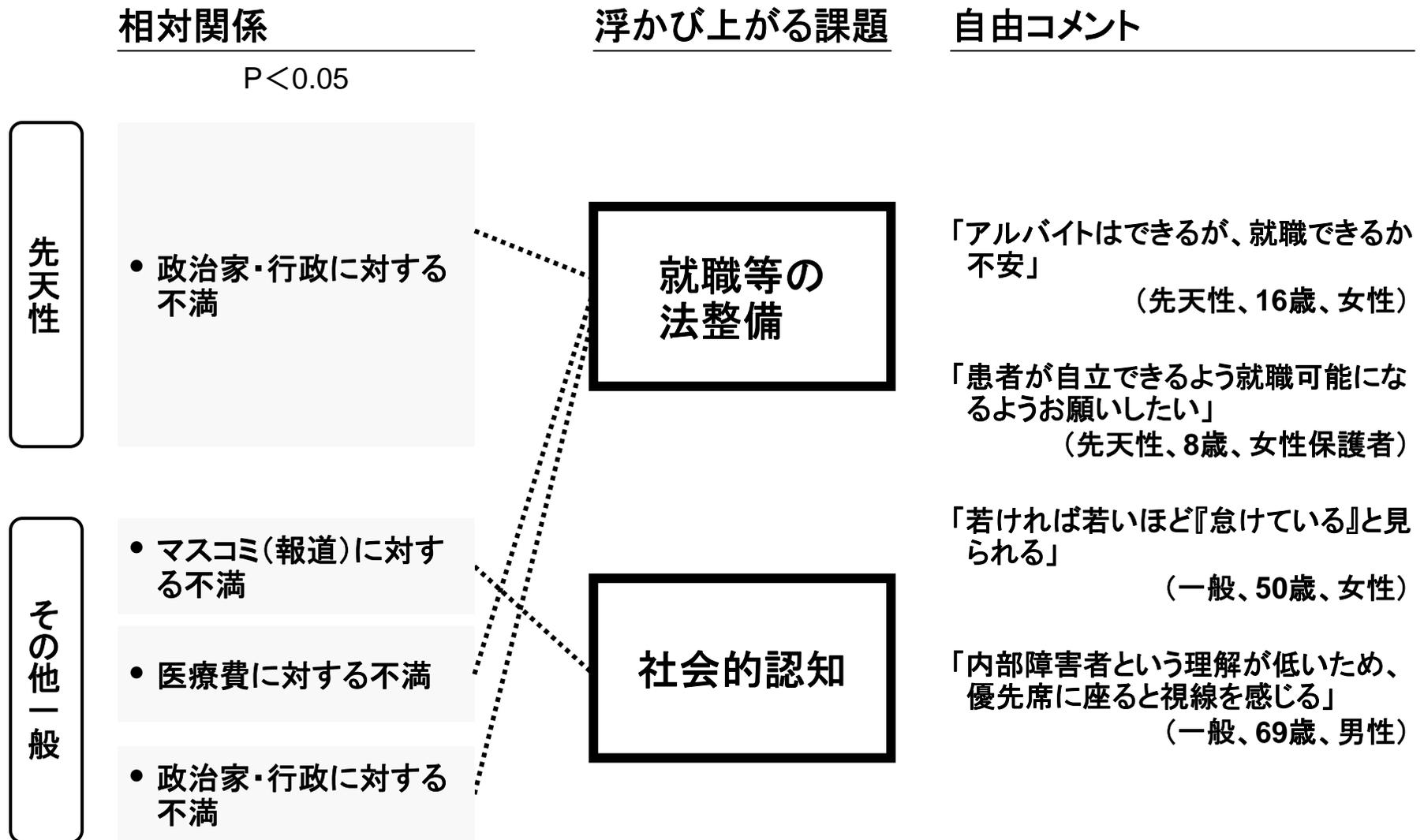
総合的な相談のできる専門家の欠如に対する不満は、経済的な心配そして退院後の長期的な管理上の不安に由来する



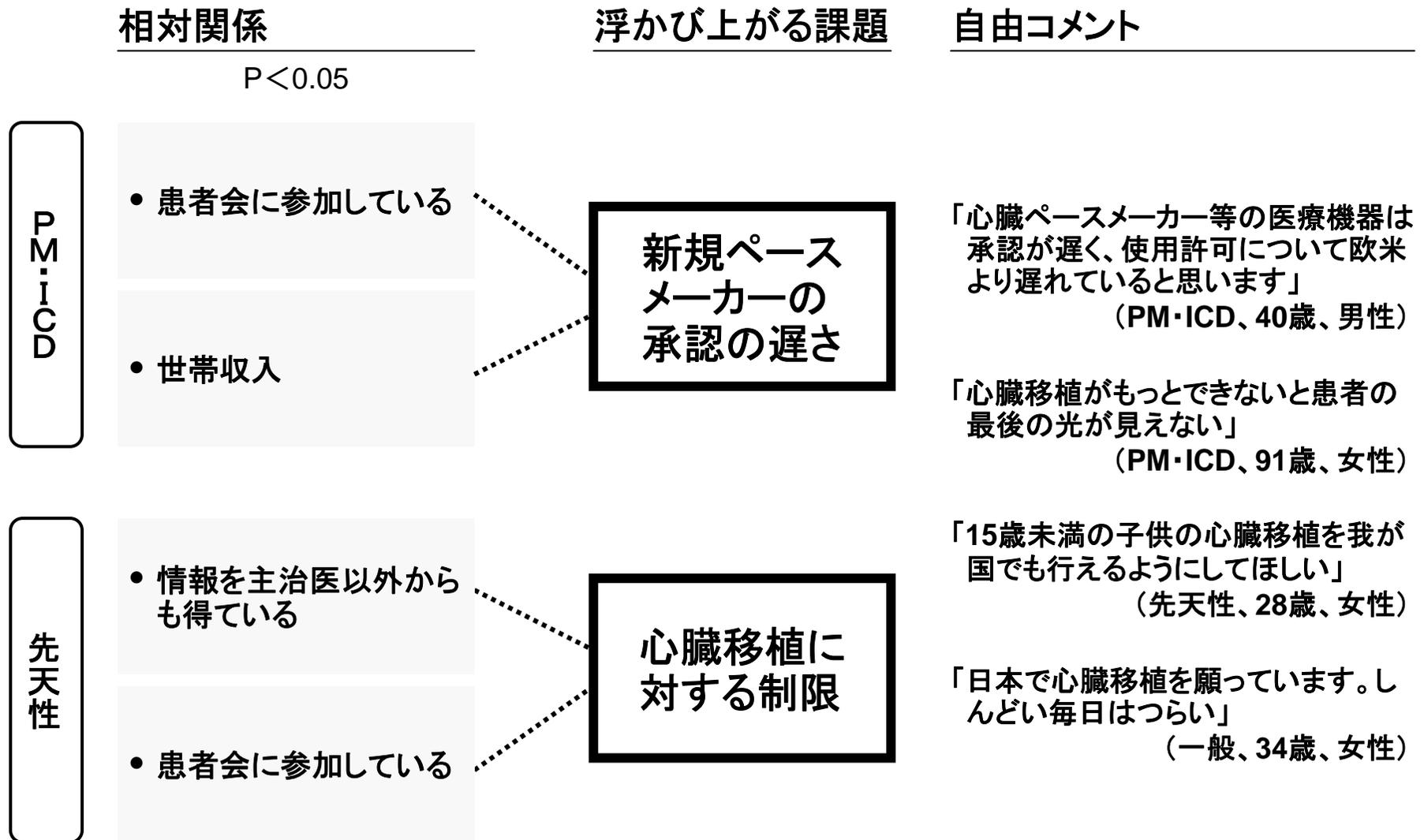
# 専門外医の知識不足に対する不満は、初期診断の遅れと病気の長期管理における不安が原因である



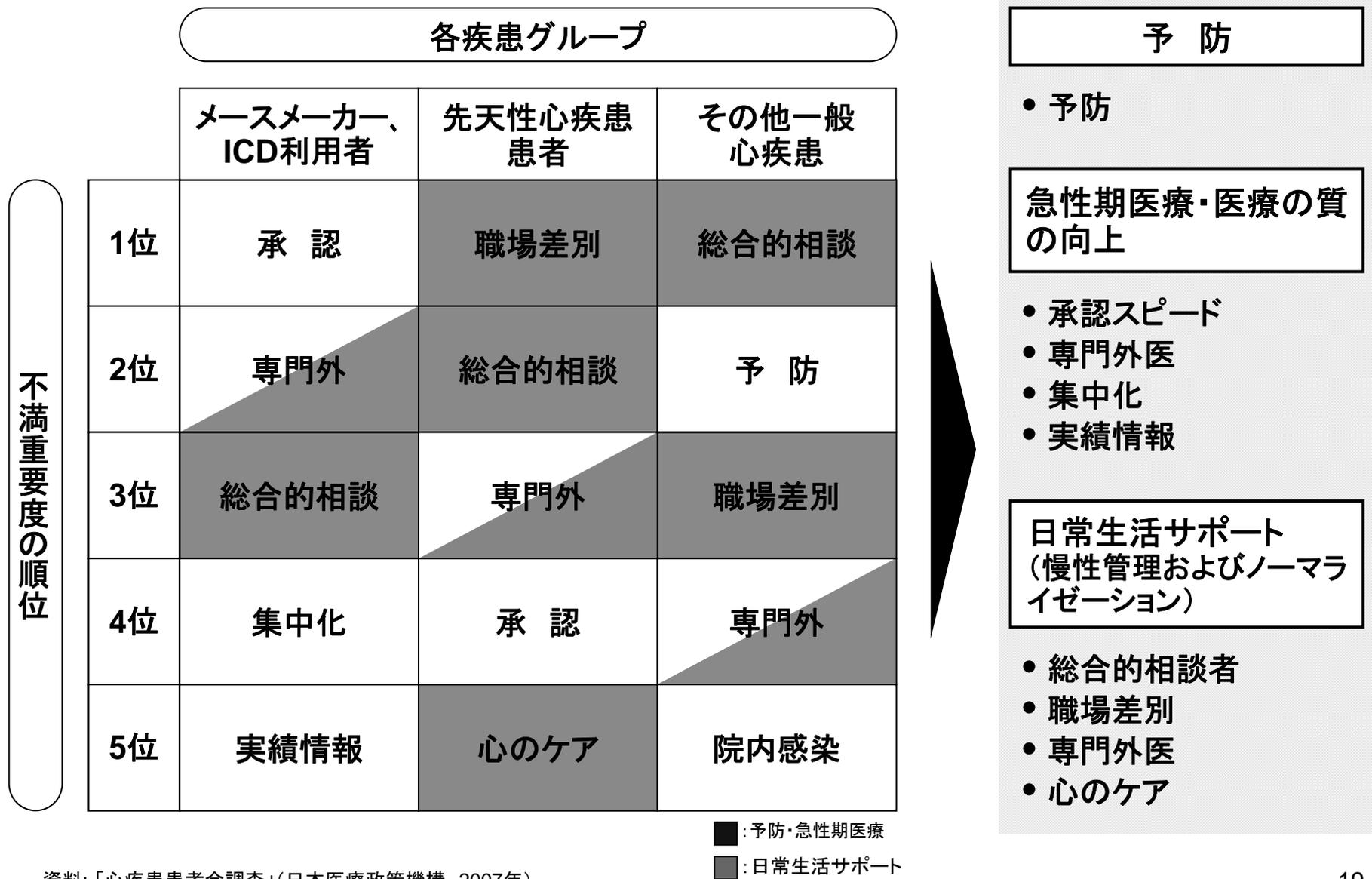
# 会社などでの社会的差別は、就職などでの法整備の問題と、社会的認知の問題に分かれる



# 情報・知識の多さが、承認スピードに対する不満と相関する



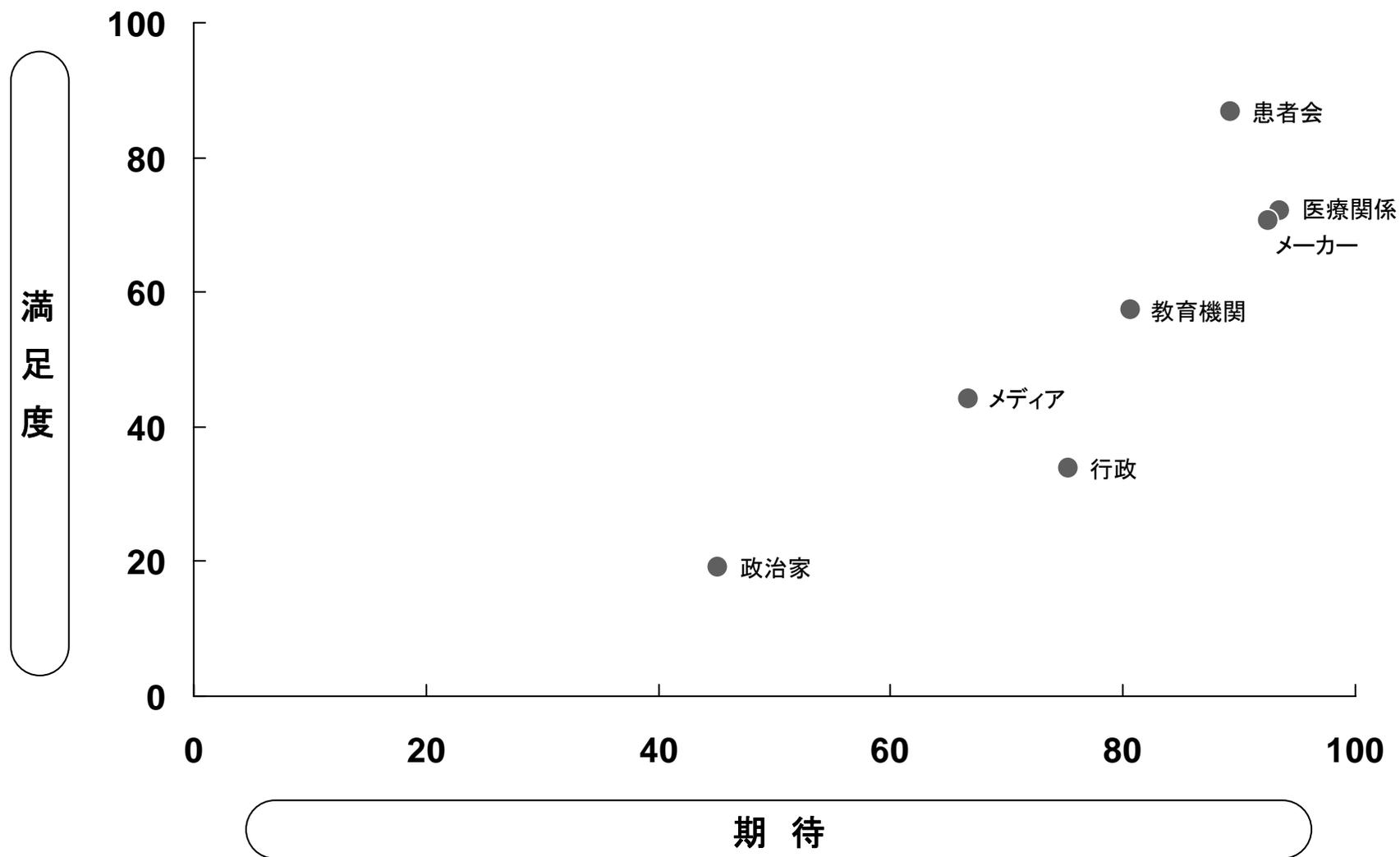
各分類ごとに重要かつ満足度の低いものを抽出すると、それらが急性期治療と日常生活の項目に分かれることが分かる



資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

# 現在、政治家・行政に対する満足度・期待度は低い (%)

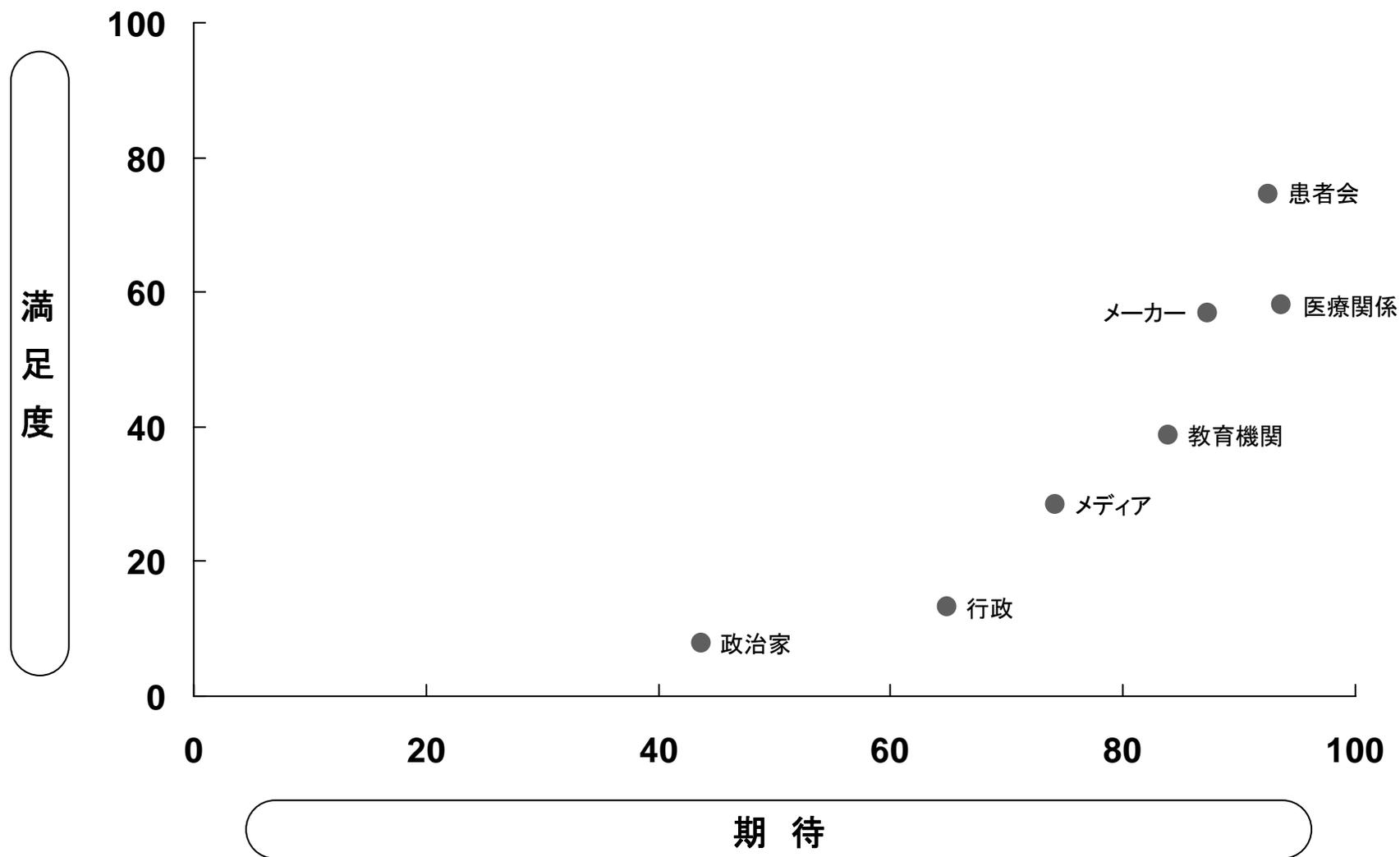
## 疾病三分類: PM



資料: 「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

# 現在、政治家・行政に対する満足度・期待度は低い (%)

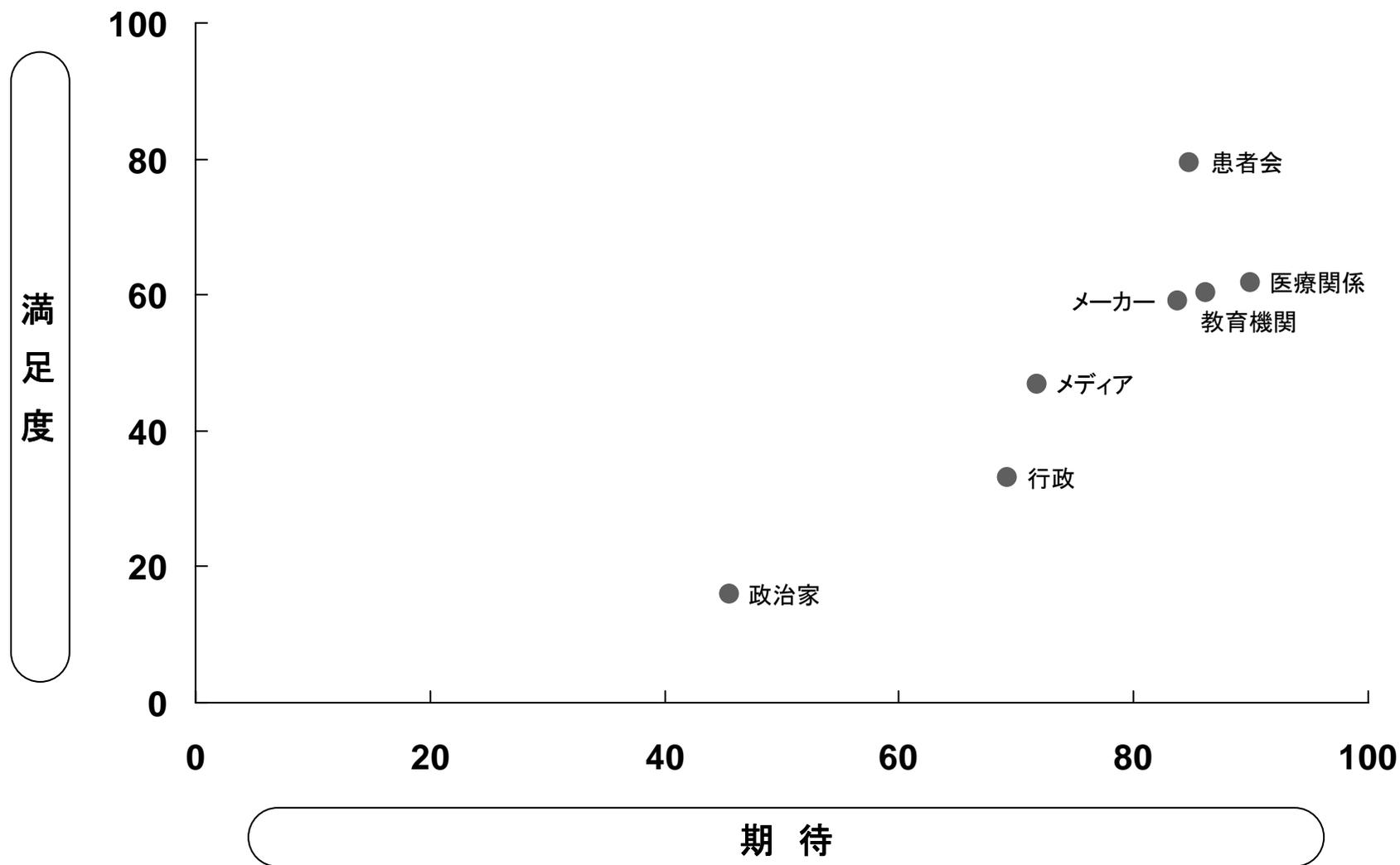
## 疾病三分類：先天性



資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

# 現在、政治家・行政に対する満足度・期待度は低い (%)

## 疾病三分類：その他心疾患

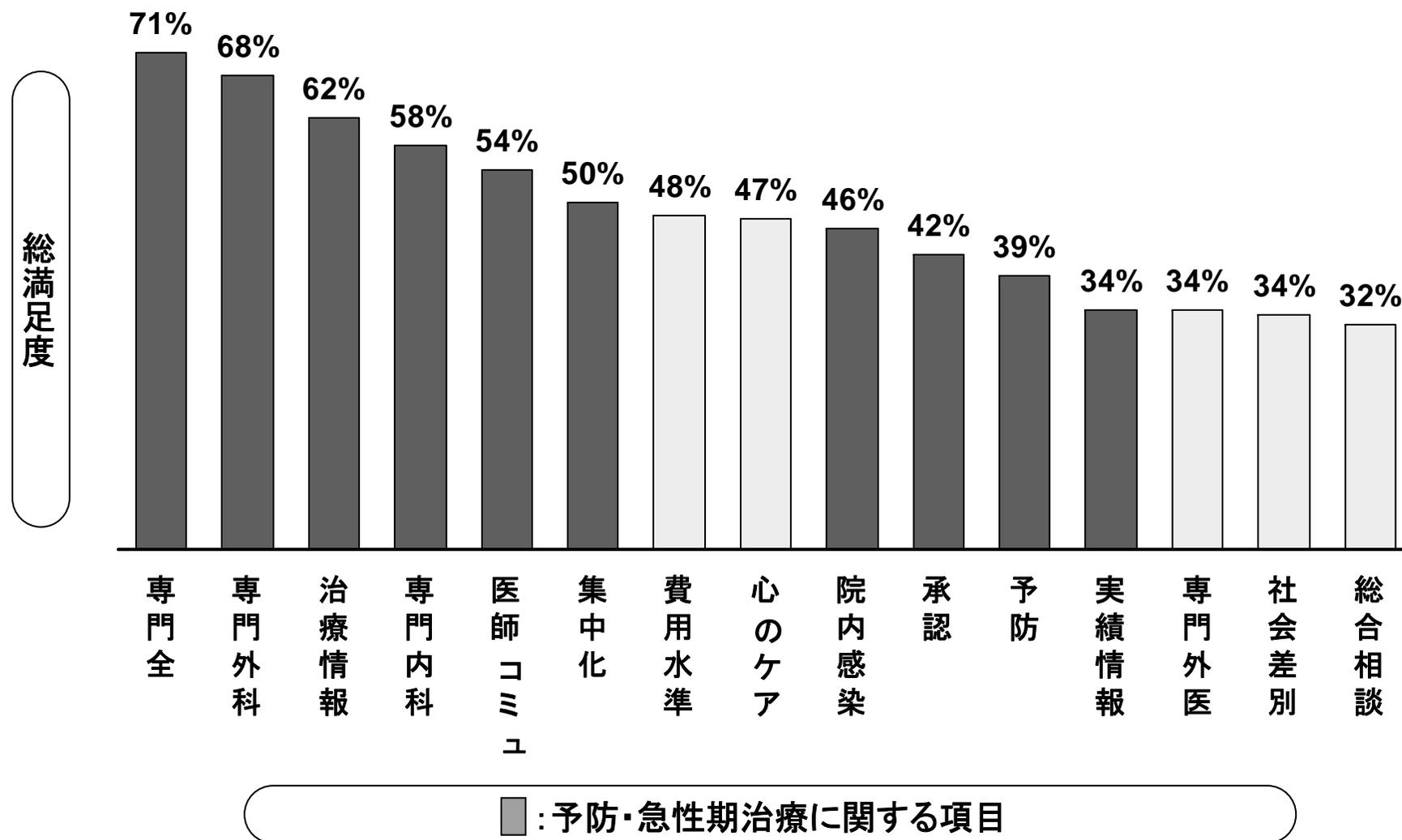


資料:「心疾患患者会調査」(日本医療政策機構、2007年)

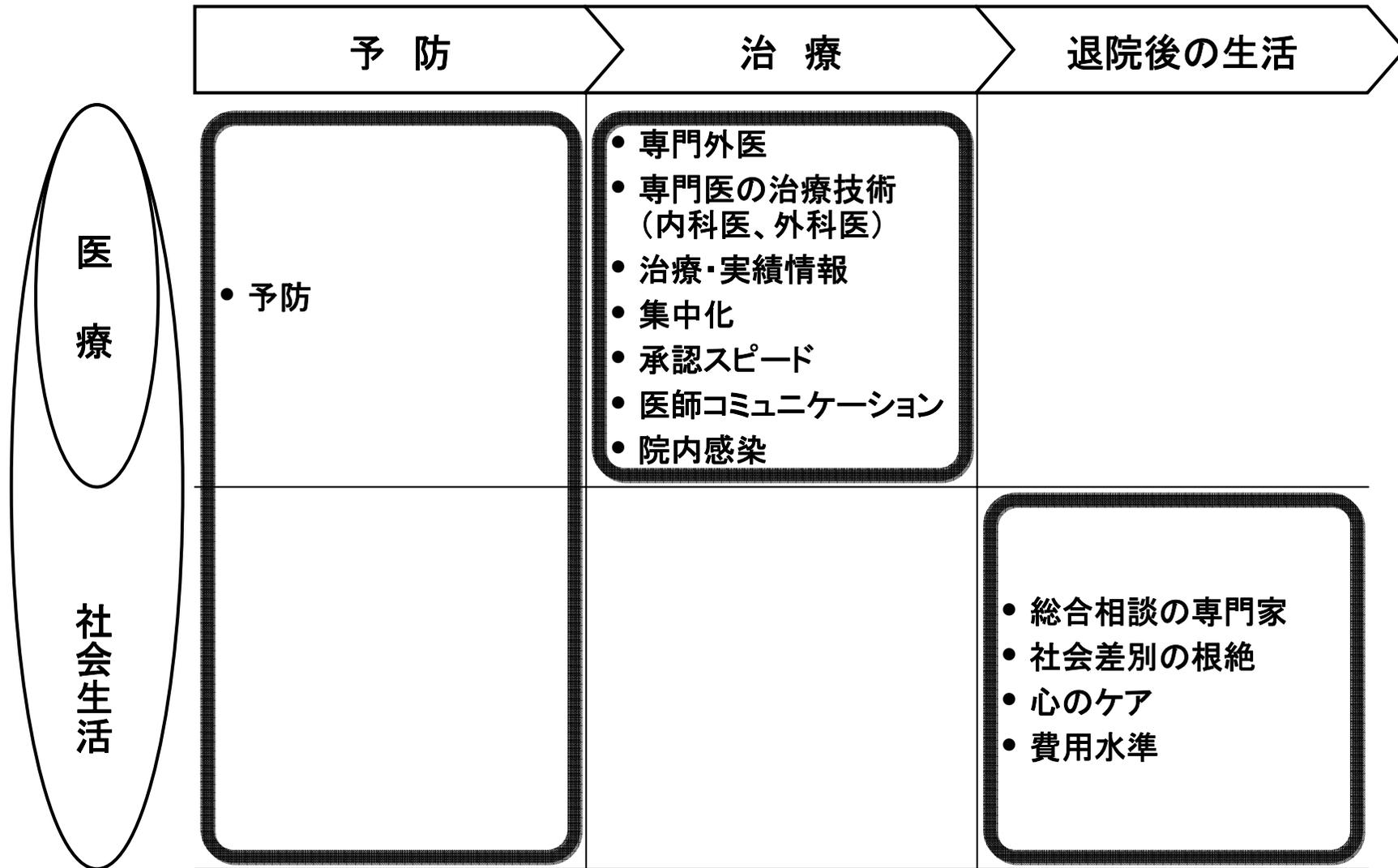


これまでは、予防・急性期治療に対する対策・対応が主に行われてきており、心疾患患者の日常生活に対するサポートは重視されてこなかった

(%)



# 患者視点から見えてきた医療政策課題領域



# 今後取り組むべきこと

## 内 容

## 改革の視点

日常生活サポート  
への重点的な取  
組み

- 先天性心疾患を中心とした費用面でのサポート
- 退院後の長期医療管理上でのアドバイスができる専門家の充実
- 就職等における障害者差別への法整備
- 障害に対する社会的認知を高める
- かかりつけ医の充実

これまで見落とされてきた患者の治療後の生活全体への対応を包括的に設計

予防・急性期分野  
の充実

- 予防への取り組みの充実
- 初期診断時の専門外医師と専門医との連携強化
- 実績情報開示の推進
- 承認スピードの迅速化

制度的な障壁を関係者も交えて改革に導く工程の明確化